

平成27年10月18日

長崎市教育委員会
教育長 馬場 豊子 様

長崎市民会館指定管理者候補者選定審査会

会長 杉原 敏夫



長崎市民会館指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎市民会館の指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

(1) 第一順位 株式会社NBCソシア

2 選考審査委員会の構成

会 長	杉原 敏夫	長崎総合科学大学総合情報学部教授
職務代理人	伊東 昌子	国立大学法人長崎大学副学長
委 員	田淵 久美子	活水女子大学健康生活学部教授
委 員	平野 啓子	ながさき女性・団体ネットワーク会員
委 員	藤澤 雄一郎	株式会社経営開発機構代表
委 員	吉田 恒雄	公益財団法人長崎市体育協会理事長
委 員	堂下 千枝子	中央公民館まつり実行委員長
委 員	三宅 由紀子	男女共同参画推進センター運営協力委員会副委員長

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容について、面接に基づき評価を行いました。

評価の結果、指定管理者として適当と思われるため、採択しました。

なお、審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	平成27年7月16日	会長及び職務代理者の選出 指定管理者制度および指定管理者候補者選定審査会の概要説明、募集要項等の説明及び協議、現地視察
第2回	平成27年10月8日	応募書類審査及び面接審査の打合せ
第3回	平成27年10月18日	面接審査、指定管理者候補団体の選定

5 申請団体

株式会社NBCソシア

6 審査結果（委員8人中6人による採点結果は別紙のとおりです。）

(1) 第一順位 株式会社NBCソシア

ア 評価された点

- (ア) 市民会館のハード面の管理運営に関して、現在、類似施設の指定管理者であり、十分な実績がある。
- (イ) 放送媒体の活用など、申請団体の強みを活かした自主事業の提案がなされていることから、各事業についてより多くの市民、より多くの世代への周知が図られる。
- (ウ) 市が示した業務仕様書をよく読み込んで提案がなされており、期待ができる。
- (エ) 無借金経営を維持するなど、安定した財政基盤を有している。

7 審査会総評

(1) 総合評価

安定した財政基盤を有している点、類似施設の指定管理の実績がある点、放送媒体を活用するなど自主事業により市民サービスを向上させる提案がなされている点は評価できた。一方、長年の実績があるカルチャースクール事業と中央公民館や男女共同参画推進センターの事業との性格の違いを、実際に事業を行う担当者が認識できるのか、また、事業に対して、いかに中身を充実していくのか、明確でない点があったが、事業の実施にあたっては、今後、市と十分協議を行い、市民に満足していただく内容にしていきたいとの意向があることから、総合的に候補者として選定できる評価であった。

(2) 選考委員からの要望

- ア トレーニング室の管理運営に関して、利用者の安全を確保し、ニーズに合ったトレーニングを行うために、日本体育協会が認定するスポーツトレーナーの資格所持者等の配置を考えていただきたい。
- イ 中央公民館まつりに関して、アマランスとの共同で講演を組んだり、メディアで広く周知をするという提案がなされていたので、それを活用した集客に期待したい。
- ウ 類似施設の指定管理のノウハウを生かした運営を行ってほしい。

エ 男女共同参画推進センターの事業に関して、男性も積極的に関われるような事業の展開を期待したい。

オ 市との協議をしっかりと行っただけで、運営を行っていただきたい。

カ 中央公民館や男女共同参画推進センターの事業に関して、講座が利用者にとってどのような意味があったのか等、利用者の質的な評価を把握して運営をしていただきたい。

(別紙)

採点結果

区分	評価項目			配点			第1順位	
	大項目	中項目	詳細	各委員	全体	計	株式会社 NBCソ シア	
技術点	事業計画	施設の設置 目的と計画	事業目的に合った事業計画であるか	10	60	360	46	273
			事業目的のうち、中央公民館の設置目的に合った事業計画であるか	15	90		72	
			事業目的のうち、男女共同参画推進センターの設置目的に合った事業計画であるか	15	90		63	
		サービスの向上	施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案があるか	10	60		50	
		評価と改善	事業の提案に創意工夫や評価・改善体制があるか	10	60		42	
	基本事項	基本方針	当該施設の管理業務について、施設の設置目的等に合致した基本方針・理念を持っているか	5	30	240	21	176
			当該施設の管理業務のうち、中央公民館の設置目的に合致した基本方針・理念を持っているか	10	60		42	
			当該施設の管理業務のうち、男女共同参画推進センターの設置目的に合致した基本方針・理念を持っているか	10	60		42	
		平等利用の確保	施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	5	30		21	
		個人情報の保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	10	60		50	
安定した経営能力	安定的な財政基盤	経営状況（財務諸表等で判断）	20	120	180	96	142	

		実績	類似施設や関連業務の管理運営実績はあるか	10	60		46	
	管理運営体制	人員配置	職員配置は、当該施設の業務を行うのに適切か	10	60	180	40	132
		経理	経理・管理業務の基準等は適切であるか	10	60		46	
		緊急時の対応	緊急時における、連絡体制等危機管理体制は適切か	10	60		46	
		技術点 計			160		960	
価格点	価格	経費	経費の縮減	40		240		144
合 計				200		1,200		867

【様式3-1】指定管理者制度モニタリングチェックリスト(年次総合チェック用)

施設名	長崎市民会館
指定管理者	株式会社NBCソシア
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価年度	令和元年度

調査事項	確認方法	評価						指導内容	指導		是正確認
		優秀	良好	普通	不十分	不備	○又は×		口頭	文書	
施設管理	事業報告書が提出されているか。	書類確認			○						
	事業計画書どおり事業が実施されているか。	書類確認		○							
	選考時に提案されたサービスが、実施されているか。	書類確認		○							
	利用者数の増減は、計画どおりか。	書類確認		○							
	収支報告が適正にされているか。(赤字が出ていないか。出ている場合の対応は。)	書類確認			○						
	利用料金の管理は適正か。(市への申請、承認の手続き、申請どおりの金額か。)	書類確認					○				
	利用料金の見込みに差異はないか。(差異が大きい場合の対応は)	書類確認		○							
	自主事業の実施は適正か。(市への申請、承認の手続き、別会計処理など)	書類確認		○							
	法定点検が実施されているか。	書類確認		○							
	アンケートが実施されているか。	書類確認		○							
	必要な報告(日報、月報、年報)がなされているか。	書類確認					○				
	外部委託先は適正か。(暴対要綱に違反していないか。)	書類確認		○							
	備品の管理状況は適正か。	現地確認			○						
	緊急時の対応は適正か。	書類確認		○							
利用者からの意見や苦情への対応は十分か。	書類確認			○							
業務実施に必要な保険に加入しているか。	書類確認					○					
人員配置	総括責任者を配置し、業務の総合的な調整がなされているか。	書類確認		○							
	業務を実施するための適正な人員配置がなされているか。	現地確認		○							
	業務遂行に必要な資格を有する者の配置がなされているか。	書類確認					○				
	業務その他必要な事項に関して職員への教育は十分に行われているか。	聴取		○							
会計	施設管理運営のため、別会計を設けて経理処理がなされているか。	現地確認					○				
	固有の口座を開設し、収支の管理が適正になされているか。	現地確認					○				
	現金の管理は適正か。	現地確認					○				

- 優 秀 : 適正に行われているとともに画期的な取り組みがなされている。
- 良 好 : 問題なく適正に行われている。
- 普 通 : 最低限の基準はクリアしている。
- 不十分 : 更なる改善が必要。
- 不 備 : 抜本的な見直しが必要。
- : 適正に行われている。
- × : 適正に行われていない。

【様式4】令和元年度 長崎市民会館におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	株式会社NBCソシア	所管課名	生涯学習課 人権男女共同参画室
--------	------------	------	--------------------

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
令和元年6月	トレーニング室の利用者が午前中に特に多く、ランニングマシンやエアロバイクの待ち時間が長い。利用時間や人数の制限などを考えてほしい。	予約順番表を作成し、様子を見ながら今後の対策も検討する予定。

2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	指定管理者事務所と担当課執務室が同じ建物内にあるため、指定管理者の関係職員と対面での協議、細やかな連絡及び指導を行っている。	

3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	月次報告(年次報告)により、毎月の利用状況や講座実績、施設整備の状況を確認し、必要に応じて助言及び修繕対応を行った。	

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
年間を通じて	フェイスブックや毎週木曜日のNBCラジオ「みんなの長崎市民会館アワー」で、男女共同参画推進センターの紹介や講座案内の周知を図っている。	市民のかたに広く情報を提供する取り組みであり評価できる。今後も、施設利用者が増加するような更なる情報発信に努めてほしい。
年間を通じて	講座の申し込みに際し、インターネット受付を行っている。	中央公民館の講座申し込みのうち、インターネットによるものは、前年度と比べて5%増となっている。特に夏休みこども講座では、半数近くがインターネットによるものであり、小学生の保護者を中心とした若い世代を公民館講座へ誘導するための有効なツールとなっており評価できる。
令和元年11月	中央公民館での活動を多くの方に知ってもらうため、主催事業である「中央公民館まつり」と自主事業「いちよう並木フェスタ」を同日開催とした。「いちよう並木フェスタ」においては、起業に関心がある女性を対象とした男女共同参画推進センターの連続講座の出店実技として受講者が販売会を行った。	集客数は3,078人という結果で前年比408人減ではあったものの、連続講座の成果が目に見える形で展示されることで、より市民が講座に親しみが持て、魅力が発信できていると評価できる。また、連続講座として、出店実技を取り入れるなど、受講者が起業をイメージできる事業が実施できており、男女共同参画の啓発を推進する取り組みであり評価できる。
令和2年1月	女性就業支援全国展開事業の協力を得て、「働く女性のライフステージと健康」と題した講座を開催した。	女性特有の病気の基礎知識や、女性ホルモンの変化と健康の課題、働く女性をサポートする職場の制度などについて学習する内容となっており、男女共同参画の啓発を推進する取り組みであり評価できる。

○施設利用者の状況

単位	人
----	---

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度①	37,585	37,690	44,276	40,233	40,192	39,276	36,978	50,649	35,051	34,865	37,990	35,641	470,426
令和元年度②	41,139	35,339	46,883	38,902	51,385	37,738	39,724	46,535	32,358	34,268	33,981	11,257	449,509
②-①	3,554	▲ 2,351	2,607	▲ 1,331	11,193	▲ 1,538	2,746	▲ 4,114	▲ 2,693	▲ 597	▲ 4,009	▲ 24,384	▲ 20,917

<p>総括コメント ※指定管理者に対する市の評価等</p>	<p>市民会館全体について、施設利用者は前年度より20,917人減少した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日以降のトレーニング室の休室及び貸館等の新規予約受付の中止を行ったことが要因である。</p> <p>トレーニング室等のスポーツ施設については、3月の利用者数を除いて増加傾向にあるため、市民の健康意識の向上によるものと推測される。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響でトレーニング室を休館することも予測されるので、ホームページなどを通して、家でできる運動など情報の発信をするなど、工夫をしてほしい。</p> <p>中央公民館については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として主催講座の中止や貸室の利用制限を行ったことに伴い、前年度より利用者数が6,411人減少した。しかし、指定管理者ならではのラジオを活用した情報発信や商業施設で出前講座を実施するなどの新しい取り組みを行い、公民館に足を運んだことがない方への公民館講座の魅力を知ることができたことは、とても評価ができるため、今後も新しい利用者獲得に向けた講座の企画等を行ってほしい。</p> <p>男女共同参画推進センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日より貸室の利用制限を行ったこと等に伴い、利用者数は、4,998人減少している。しかし、講座の参加者の満足度及び理解度については、ともに前年度より増加しているため(満足度:2.4ポイント増、理解度:4.6ポイント増)、今後も継続して、利用者の増加及び男女共同参画の啓発を推進する取り組みを行ってほしい。</p>
-----------------------------------	--

【様式3-1】指定管理者制度モニタリングチェックリスト（年次総合チェック用）

施設名	長崎市民会館
指定管理者	株式会社NBCソシア
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価年度	平成30年度

調査事項	確認方法	評価						指導内容	指導		是正確認
		優秀	良好	普通	不十分	不備	○又は×		口頭	文書	
施設管理	事業報告書が提出されているか。	事業報告書			○						
	事業計画書どおり事業が実施されているか。	事業報告書・月次報告書		○							
	選考時に提案されたサービスが、実施されているか。	事業報告書・月次報告書		○							
	利用者数の増減は、計画どおりか。	事業報告書・月次報告書			○						
	収支報告が適正にされているか。 (赤字が出ていないか。出ている場合の対応は。)	収支決算書			○						
	利用料金の管理は適正か。(市への申請、承認の手続き、申請どおりの金額か。)	申請書						○			
	利用料金の見込みに差異はないか。 (差異が大きい場合の対応は)	事業報告書			○						
	自主事業の実施は適正か。(市への申請、承認の手続き、別会計処理など)	月次報告書		○							
	法定点検が実施されているか。	月次報告書		○							
	アンケートが実施されているか。	事業報告書		○							
	必要な報告(日報、月報、年報)がなされているか。	事業報告書・月次報告書						○			
	外部委託先は適正か。(景観要綱に違反していないか。)	再委託承認申請書		○							
	備品の管理状況は適正か。	聴取			○						
	緊急時の対応は適正か。	危機管理マニュアル		○							
	利用者からの意見や苦情への対応は十分か。	月次報告書			○						
業務実施に必要な保険に加入しているか。	書類確認						○				
人員配置	総括責任者を配置し、業務の総合的な調整がなされているか。	届出書			○						
	業務を実施するための適正な人員配置がなされているか。	配置体制表・聴取			○						
	業務遂行に必要な資格を有する者の配置がなされているか。	資格者名簿・聴取						○			
	業務その他必要な事項に関して職員への教育は十分に行われているか。	聴取			○						
会計	施設管理運営のため、別会計を設けて経理処理がなされているか。	通帳確認・現地確認						○			
	固有の口座を開設し、収支の管理が適正になされているか。	通帳確認・現地確認						○			
	現金の管理は適正か。	現地確認						○			

優秀：適正に行われているとともに画期的な取り組みがなされている。
 良好：問題なく適正に行われている。
 普通：最低限の基準はクリアしている。
 不十分：更なる改善が必要。
 不備：抜本的な見直しが必要。
 ○：適正に行われている。
 ×：適正に行われていない。

【様式4】平成30年度 長崎市民会館におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	株式会社NBCソシア	所管課名	生涯学習課 人権男女共同参画室
--------	------------	------	--------------------

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
平成30年9月11日	交流コーナーの椅子が低いので、子ども用の椅子がほしい。	椅子の座面を高くするために、スポンジ座布団を貸し出すようにした。
平成30年12月7日	男性用トイレの小便器を利用している姿が見えないよう引き戸を設置してほしい。	引き戸の設置は構造上難しいため、シャワーカーテンを設置した。
平成30年12月7日	こどもトイレの水道の蛇口が固いので改善してほしい。洗面台に鏡を取り付けてほしい。	蛇口を修理し、鏡を購入し設置した。
平成30年12月11日	公共交通機関を利用して行くことができる近場の観光地が掲載されたガイドブックを設置してほしい。	市の観光推進課発行の「長崎MAP」を設置した。

2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	指定管理者事務所と担当課執務室が同じ建物内にあるため、指定管理者の関係職員と対面での協議、細やかな連絡及び指導を行っている。	

3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて	月次報告(年次報告)により、毎月の利用状況や講座実績、施設の整備状況などを確認し、必要に応じて助言や修繕対応を行った。	利用状況・実施の確認だけでなく、利用者からの要望など、今後の運営に活かすことができる情報を共有することができた。

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
年間を通じて	フェイスブックや毎週木曜日のNBCラジオ「みんなの長崎市民会館アワー」で、男女共同参画推進センターの紹介や講座案内の周知を図っている。	市民のかたに広く情報を提供する取り組みであり評価できる。今後も、施設利用者が増加するよう更なる情報発信に努めてほしい。
平成30年7月6～8日	スウェーデン大使館の日本巡回写真展「スウェーデンのパパたち」及び「長崎のパパと子どもの写真展」を開催した。	「長崎のパパと子どもの写真展」の受賞作品の表彰を行うなど、男女共同参画の啓発を推進する取り組みであり評価できる。
平成30年11月17日	自主事業として前年に引き続き、市民会館の施設を活かした、いちよう並木フェスタを開催し、カズオイシグロ写真展や市民映画祭、お菓子作り体験、終活フェアなど、体験・提案型のプログラムを企画し、館の利便性と魅力を発信した。	幅広い世代が家族ぐるみで楽しめる企画であり、参加者は昨年の3,468人を650人程度上回る4,116人であった。今後も館の魅力と利用者の利便性を向上させる取組みを続けてほしい。

○施設利用者の状況

	単位												人
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成29年度①	34,776	36,526	39,767	42,271	54,992	43,347	39,878	46,081	34,319	35,140	33,893	36,158	477,148
平成30年度②	37,585	37,690	44,276	40,233	40,192	39,276	36,978	50,649	35,051	34,865	37,990	35,641	470,426
②-①	2,809	1,164	4,509	▲ 2,038	▲ 14,800	▲ 4,071	▲ 2,900	4,568	732	▲ 275	4,097	▲ 517	▲ 6,722

総括コメント ※指定管理者に対する市の評価等	<p>市民会館全体の施設利用者数については、前年度より6,722人減少した。これは、11月に展示ホールで展示販売会が開催され利用者が2,000人程度増加したこと及び年間を通してトレーニング室の利用者が4,200人程度増加したものの、前年度の8月に市民体育館で原水爆禁止世界大会の長崎大会が開催されたが、平成30年度は大会の規模が縮小したことにより、前年度と比較して約11,000人利用者が減少したことが主な要因と考えられる。貸室については、催事の規模や内容によって利用者数が大幅に変動するが、トレーニング室利用者数については、毎月増加傾向にあるため、市民の健康意識が向上したものと推測される。</p> <p>中央公民館は前年度より利用者数が181人減少したものの、公民館講座については、長崎の魅力発信をテーマとした講座が数多く企画されており、平成28年度の指定管理者制度導入以降、毎年開催数、受講者数が増加しており、評価できるため、今後も利用者が増加するような魅力的な講座の企画を継続してほしい。</p> <p>男女共同参画推進センターについては、利用者数は1,213人増加しており、今後も施設利用者が増加するような取り組みを検討してほしい。また、講座参加者数については、第2次長崎市男女共同参画計画に基づく目標値を達成しているため、より満足度の高い事業の実施等、事業の充実を更に図ってほしい。</p>
---------------------------	---

【様式3-1】指定管理者制度モニタリングチェックリスト（年次総合チェック用）

施設名	長崎市民会館
指定管理者	株式会社NBCソシア
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
評価年度	平成29年度

調査事項	確認方法	評価						指導内容	指導		是正確認
		優秀	良好	普通	不十分	不備	○又は×		口頭	文書	
施設管理	事業報告書が提出されているか。	事業報告書		○							
	事業計画書どおり事業が実施されているか。	事業報告書・月次報告書		○							
	選考時に提案されたサービスが、実施されているか。	事業報告書・月次報告書		○							
	利用者数の増減は、計画どおりか。	事業報告書・月次報告書			○						
	収支報告が適正にされているか。（赤字が出ていないか。出ている場合の対応は。）	収支決算書			○						
	利用料金の管理は適正か。（市への申請、承認の手続き、申請どおりの金額か。）	申請書						○			
	利用料金の見込みに差異はないか。（差異が大きい場合の対応は）	事業報告書			○						
	自主事業の実施は適正か。（市への申請、承認の手続き、別会計処理など）	月次報告書						○			
	法定点検が実施されているか。	月次報告書			○						
	アンケートが実施されているか。	事業報告書			○						
	必要な報告（日報、月報、年報）がなされているか。	事業報告書・月次報告書						○			
	外部委託先は適正か。（契約要綱に違反していないか。）	再委託承認申請書			○						
	備品の管理状況は適正か。	聴取			○						
	緊急時の対応は適正か。	危機管理マニュアル		○							
	人員配置	利用者からの意見や苦情への対応は十分か。	月次報告書			○					
業務実施に必要な保険に加入しているか。		書類確認						○			
総括責任者を配置し、業務の総合的な調整がなされているか。		届出書		○							
業務を実施するための適正な人員配置がなされているか。		配置体制表・聴取		○							
会計	業務遂行に必要な資格を有する者の配置がなされているか。	資格者名簿・聴取						○			
	業務その他必要な事項に関して職員への教育は十分に行われているか。	聴取			○						
	施設管理運営のため、別会計を設けて経理処理がなされているか。	通帳確認・現地確認						○			
固有の口座を開設し、収支の管理が適正にされているか。	通帳確認・現地確認						○				
現金の管理は適正か。	現地確認						○				

- 優秀：適正に行われているとともに画期的な取り組みがなされている。
- 良好：問題なく適正に行われている。
- 普通：最低限の基準はクリアしている。
- 不十分：更なる改善が必要。
- 不備：抜本的な見直しが必要。
- ：適正に行われている。
- ×：適正に行われていない。

【様式4】平成29年度 長崎市民会館におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	株式会社NBCソシア	所管課名	生涯学習課 人権男女共同参画室
--------	------------	------	--------------------

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
平成29年4月29日	アマランスのトイレ内の表示が「使用後のドアをあけて」「落書きしないで」等、禁止やネガティブな表現が多い。	表示物をすべて確認し、古くなった貼り紙は剥がし、表現の仕方も利用者目線で考え作成した。
平成29年7月14日 平成29年7月20日	交流コーナーに食べかすが落ちていたり、ガムがソファについている。	日頃から施設内の見回りを行っており、利用者からの意見があった交流コーナーを重点的に再度見回りを行った。また、スタッフが気付かない場合もあるため、その際は事務所に声をかけてもらうよう伝えた。
平成29年7月18日	6階更衣室の床、壁、シャワーカーテン、ブラインドが古いので改修してほしい。	6階のシャワー室の改修工事を行った。
平成29年8月9日	卓球室、トレーニング室、更衣室など6階全般にわたり、扇風機が壊れているなど不調が多い。	修理及び取替交換で対応した。
平成30年1月18日	アマランスの男性用トイレが臭い。	配管内部を清掃する工事及び配管を交換する工事を行い、センサー付き芳香剤を女性トイレ及び男性トイレに設置した。

2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて実施 (週1回程度)	指定管理者の関係職員と協議、連絡及び指導を行っている。	指定管理者事務所と担当課執務室が同じ建物内にあるため、対面での協議、連絡を行った。

3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
毎月 年度末	月次報告(年次報告)により、毎月の利用状況や講座実績等を確認し、必要に応じて助言等を行った。	利用状況・実績の確認だけでなく、利用者からの要望など、今後の運営に活かすことができる情報を共有することができた。

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
年間を通じて実施	フェイスブックや毎週水曜日のNBCラジオ「みんなの長崎市民会館アワー」で、男女共同参画推進センターの紹介や講座の案内の周知を図っている。	市民のかたに広く情報を提供する取組みであり評価できるが、施設利用者が増加するよう更なる情報発信に努めてほしい。
平成29年11月23日	自主事業として「長崎市民会館いちよ並木フェスタ」を開催し、市民会館の施設を活かした体験と提案型のプログラムで会館の利便性と魅力を発信した。	3,468人の観客動員数があり、市民会館の新たな魅力発信と利用者増加に繋がった。

○施設利用者の状況

単位 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度①	38,028	36,083	43,994	40,472	44,373	43,434	46,360	45,521	37,857	41,344	36,049	36,366	489,881
平成29年度②	34,776	36,526	39,767	42,271	54,992	43,347	39,878	46,081	34,319	35,140	33,893	36,158	477,148
②-①	▲ 3,252	443	▲ 4,227	1,799	10,619	▲ 87	▲ 6,482	560	▲ 3,538	▲ 6,204	▲ 2,156	▲ 208	▲ 12,733

<p>総括コメント ※指定管理者に 対する市の評価 等</p>	<p>平成29年度は前年度と比較して、全館において利用者が12,733人減少した。この大幅な利用者の減少については、前年度に開催した「ねんりんピック」や「九州地区民族芸能大会」など大きなイベントが平成29年度には開催されなくなったことが要因として考えられる。利用者は減少傾向にあるため、利用者の増加に向けた情報発信を継続して行うとともに、さらに魅力あるイベント等の実施や民間に取り組み、利用者の増加に努めてほしい。</p> <p>中央公民館の事業については、多様化、高度化する学習意欲に応じ、また新たに生じてくる地域のニーズを把握し、よりニーズに合った講座を開催してほしい。</p> <p>男女共同参画推進センターの事業については、引き続き講座の実施回数を増やす等講座参加者の増加につながる取組みを進めてほしい。</p>
---	--

【様式4】平成28年度 長崎市民会館施設におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	株式会社NBCソシア	所管課名	生涯学習課 人権男女共同参画室
--------	------------	------	--------------------

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
平成28年4月15日	交流コーナーで通話してうるさい。館内での携帯電話の使用を禁止してほしい。	即日、交流コーナーや掲示板に、携帯電話の使用について周囲への配慮を促す内容の掲示を行った。
平成28年5月11日 平成28年5月24日 平成28年5月25日	図書情報室の雑誌の種類を増やしてほしい。	要望があった雑誌を最新号から購入し、開架した。
平成28年5月26日	以前、2階にあった血圧計を再設置してほしい。	血圧計を2階受付カウンターに設置し、希望者に貸し出すようにした。
平成29年2月18日	2階正面玄関にある喫煙所からタバコの煙が館内に入ってくるため、移動してほしい。	2階正面玄関前の喫煙所を撤去し、3か所あった喫煙所を2か所に減らした。その際、1階と3階の喫煙所を案内するポスターを2階玄関に掲示した。

2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて実施	指定管理者の関係職員と協議、連絡及び指導を行っている。	指定管理者事務所と担当課執務室が同じ建物内にあるため、対面での協議、連絡を行った。

3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
年間を通じて実施	月次報告により、毎月の利用状況や講座実績、施設の維持管理に関する点検結果を確認した。	利用状況・実績の確認だけでなく、利用者からの要望など、今後の運営に活かすことができる情報を共有することができた。

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
年間を通じて実施	多くの市民の方に足を運んでもらえるように、広報の手段としてFacebookを開設した。また、NBCラジオで毎週水曜日に「みんなの市民会館アワー」を放送し、周知を図っている。	新たな広報手段を活用し利用者に広く情報を提供する取り組みであり、評価できる。内容をより興味深いものにするよう創意工夫を重ねてほしい。
平成28年12月2日	講座や施設利用を呼び掛けるとともに、男女共同参画への興味関心を喚起するため、自主事業として「市民会館ロマンチックコンサート」を開催した。	各種のミニ講座と合唱団による合唱や演奏を開催し、来館者からは好評であった。今後も引き続き実施し、より良いイベントとなるよう努めて欲しい。

○施設利用者の状況

単位	人
----	---

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度①	36,080	34,646	42,885	43,168	47,610	42,963	46,804	46,412	37,698	28,101	34,825	36,435	477,627
平成28年度②	38,028	36,083	43,994	40,472	44,373	43,434	46,360	45,521	37,857	41,344	36,049	36,366	489,881
②-①	1,948	1,437	1,109	▲ 2,696	▲ 3,237	471	▲ 444	▲ 891	159	13,243	1,224	▲ 69	12,254

総括コメント ※指定管理者 に対する市の評 価等	事業計画に記載された事業を概ね計画どおり実施しており、放送媒体の活用、独自のホームページの作成など集客力向上への取り組みがなされ、利用者の増加につながった。今後は、更なる施設の活性化、集客数の増加に繋がる取り組みを検討してほしい。 なお、中央公民館については、今後は、さらに若者や働く世代が参加する講座の充実を図ってほしい。その他の事業についても、市民が自主的に学ぶ学習グループの新規発足や地域の活性化につながるボランティア活動の支援に、引き続き取り組んで欲しい。 また、男女共同参画推進センターについては、講座の実施回数を増やす等講座参加者の増加につながる取り組みを進めるとともに、引き続きアマランスの周知を図ってほしい。
-----------------------------------	--

令和元年度

No	施設名	所管課	利用状況				増減の理由 (平成30年度との比較)	総括コメント (指定管理者に対する所管課の評価等)	
			導入前年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
149	長崎市ヴィラ・オリムピカ伊王島	生涯学習課	21	7,776人	9,228人	11,553人	15,190人 (3,637人)	自主事業として行っているボルダリングや令和元年度より利用者の利便性向上を図るため、年末年始を開館(12月29日～1月3日)したことなど、指定管理者の工夫により利用者増となった。	事業計画に記載された事業を概ね計画どおり実施しており、年末年始に開館するなど利用者拡大のための取組みがなされている。利用者は約3,600人増加しているが、利用者増の要因としては、平成30年11月から取り入れている自主事業(ボルダリングの利用1,584人)によるものと、島外から伊王島へ訪れる方が増えていること、また、指定管理者の工夫により伊王島の写真を施設内に掲示したり、図書室に季節などテーマを設けたコーナーを作ったり、利用者のくつろぎの場所として環境づくりを行ったことなどが考えられる。今後も住民の身近な施設としての機能を大切にしなが、島内施設との相互連携を強化し、さらなる利用者の増加に努めてほしい。
150	日吉自然の家	生涯学習課	28	20,260人	24,953人	30,213人	31,068人 (855人)	日吉自然の家周辺の自然を生かした主催事業に加え、自主事業「農業体験事業あーで日吉」、「ペルセウス座観望会」、「地域との連携事業の如月遊学」等の内容を充実させるとともに、地道な広報活動が功を奏し、新規利用者、リピーターの確保ができたため。	令和元年度は、台風の影響による主催事業(キャンプ)の一部中止や、3月には新型コロナウイルスの影響による利用者の受け入れ制限があったにも関わらず、利用者数が前年度に比べて増加している。これは、指定管理者による事業内容の工夫や地道な広報活動の結果と考えられる。また、職員研修の面では、従来の研修に加え、施設の特性を踏まえて、野外の食品衛生に関する研修を実施するなど、施設の集客や運営については概ね評価できる。引き続き、施設の適正な運営を行っていただくうえで、台風で中止となる事業が出ることを想定して、事前に代替事業を準備したり、台風シーズンを避けて実施時期を設定するなど、さらなる工夫に努めてもらいたい。また、地域の方たちとともに実行委員会を立ち上げ自主事業を実施したことは、地域の活性化に寄与する取組みとして評価できる。引き続き、地域と連携しながら、事業の充実を図ってもらいたい。
151	長崎市科学館	生涯学習課	21	89,062人	161,754人	204,235人	153,167人 (▲51,068人)	令和元年度の夏の特別展『3Dアート展』の入場者数が伸びなかったこと、また、新型コロナ感染防止対策として、令和2年3月4日から休館しており、春の特別展の開催が中止となったことなどにより減となった。	事業計画に記載された事業を計画どおり実施しており、利用者拡大のための取組みがなされているが、利用者数は約51,000人減となっている。利用者減の原因としては、平成30年度に行った展示室リニューアルの効果が落ち着いたこと、令和元年度の夏の特別展『3Dアート展』の入場者数が伸びなかったこと、また、新型コロナ感染防止対策として、令和2年3月4日から休館しており、春の特別展の開催が中止となったことなどによるものと考えられるが、秋には、段ボールの仕組みなどの科学館スタッフによる手作り企画展を開催し、企画展では過去最高の利用者数となったことは評価できる。今後も、展示室を利用したイベントや何度来ても楽しめるような工夫の継続と、「数の成果」を追求するだけでなく、「質の成果」を追求する姿勢を持ち、科学館の設置目的に沿った運営に努めていただきたい。
152	長崎市民会館	人権生涯男女共同学習参画室	27	477,627人	477,148人	470,426人	449,509人 (▲20,917人)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、トレーニング室における令和2年3月4日以降の休室及び中央公民館における主催講座の中止や貸室の利用制限を行ったことなどにより減となった。	市民会館全体について、施設利用者は前年度より20,917人減少した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日以降のトレーニング室の休室及び貸室等の新規予約受付の中止を行ったことが要因である。トレーニング室等のスポーツ施設については、3月の利用者数を除いて増加傾向にあるため、市民の健康意識の向上によるものと推測される。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数は減少することが予測されるので、ホームページなどを通して、家でできる運動など情報の発信をするなど、工夫をしてほしい。中央公民館については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として主催講座の中止や貸室の利用制限を行ったことに伴い、前年度より利用者数が6,411人減少した。しかし、指定管理者ならではのラジオを活用した情報発信や商業施設で出前講座を実施するなどの新しい取り組みを行い、公民館に足を運んだことがない方への公民館講座の魅力を周知できたことは、とても評価ができるため、今後も新しい利用者獲得に向けた講座の企画等を行ってほしい。男女共同参画推進センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日より貸室の利用制限を行ったこと等に伴い、利用者数は、4,998人減少している。しかし、講座の参加者の満足度及び理解度については、ともに前年度より増加しているため(満足度:2.4ポイント増、理解度:4.6ポイント増)、今後も継続して、利用者の増加及び男女共同参画の啓発を推進する取り組みを行ってほしい。

平成30年度

No	施設名	所管課	利用状況				増減の理由 (平成29年度との比較)	総括コメント (指定管理者に対する所管課の評価等)
			導入前年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
146	長崎市科学館	生涯学習課	21	89,062人	179,180人	161,754人 (▲17,426人)	204,235人 (42,481人)	平成30年度は、展示室のリニューアル工事が行われ、平成30年6月18日から平成30年12月21日まで展示室が閉鎖になることから、入館者の減少が懸念されたが、指定管理者において、利用者減少防止策としてプラネタリウム投影の期間拡大、イベントの強化など様々な取組みを行った。その結果、展示室のリニューアルオープン効果も加わったこともあるが、利用者数は過去最高の20万人を超える人数となった。今後も、利用者増となるよう、展示室を利用したイベントや今までにない特別展の開催など、何度来ても楽しめるような工夫の継続と科学館の設置目的に沿った運営に努めていただきたい。
147	長崎市民会館	人権生涯学習課 男女共同参画室	27	477,627人	489,881人	477,148人 (▲12,733人)	470,426人 (▲6,722人)	市民会館全体の施設利用者数については、前年度より6,722人減少した。これは、11月に展示ホールで展示販売会が開催され利用者が2,000人程度増加したこと及び年間を通してトレーニング室の利用者が4,200人程度増加したものの、前年度の8月に市民体育館で原水爆禁止世界大会の長崎大会が開催されたが、平成30年度は大会の規模が縮小したことにより、前年度と比較して約11,000人利用者が減少した。 市民会館全体の施設利用者数については、前年度より6,722人減少したものの、公民館講座については、長崎の魅力発信をテーマとした講座が数多く企画されており、平成28年度の指定管理者制度導入以降、毎年開催数、受講者数が増加しており、評価できるため、今後も利用者が増加するような魅力的な講座の企画を継続してほしい。 男女共同参画推進センターについては、利用者数は1,213人増加しており、今後も施設利用者が増加するような取組みを検討してほしい。また、講座参加者数については、第2次長崎市男女共同参画計画に基づく目標値を達成しているため、より満足度の高い事業の実施等、事業の充実を更に図ってほしい。

平成29年度

No	施設名	所管課	利用状況				増減の理由 (平成28年度との比較)	総括コメント (指定管理者に対する所管課の評価等)
			導入前年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
142	長崎市ウィラ・オリンピック伊王島	生涯学習課	21	7,776人	7,439人	7,416人 (▲23人)	9,228人 (1,812人)	旧やすらぎ伊王島(現アイランドナガサキ)の宿泊客向けチラシにより周知を図るなど、伊王島の施設一体となった管理を行ったため。 事業計画に記載された事業を概ね計画どおり実施しており、旧やすらぎ伊王島(現アイランドナガサキ)の宿泊客向けチラシにより周知を図るなど、伊王島の施設一体となった管理を行ったことなどから、昨年度と比較し年間1,812人の施設利用者の増が見られた。 今後は平成30年4月1日にリニューアルオープンしたアイランドナガサキの宿泊客の増加が見込まれるため、伊王島施設の相互連携を強化し、さらに新たなイベントの企画をするなどによる利用者の増加に努めてほしい。
143	日吉自然の家	生涯学習課	28	20,260人	-	-	24,953人 (4,693人)	運営については、事業計画のとおり適正になされていた。 また、アンケート結果で多かった食事内容の要望に対して、他施設との比較や食堂との協議を経て、平成30年度7月より改善することとなった。 施設利用者については、長崎市科学館との連携を行った事業を実施することなどにより、前年度と比較して増やすことができた。今後は、12月から2月期の利用者増に向けた取組みを行って欲しい。
144	長崎市科学館	生涯学習課	21	89,062人	180,738人	179,180人 (▲1,558人)	161,754人 (▲17,426人)	春季や夏季の特別展の観覧者が伸び悩んでいることにより利用者の減につながったため。 平成29年度の利用者数は、目標としていた15万人を超えたが、前年度と比べると大幅に減少し、17,426人減少の161,754人となった。これは、春季や冬季の特別展について、内容の類似したものが続き、観覧者数が伸び悩んだことが原因と考えられる。特別展については、より魅力的な企画を実施し、引き続き科学館の設置目的に沿った運営に努めていただきたい。また、平成30年度は展示室のリニューアルのため、展示室を一時閉館することから、大幅な利用者減にならないような取組みを行ってほしい。
145	長崎市民会館	人権生涯学習課 男女共同参画室	27	477,627人	-	489,881人 (12,254人)	477,148人 (▲12,733人)	前年度に開催した「ねんりんピック」や「九州地区民俗芸能大会」など大きなイベントがなくなったことや、中央公民館の学習グループ数が減少したため。 平成29年度は前年度と比較して、全館において利用者が12,733人減少した。この大幅な利用者の減少については、前年度に開催した「ねんりんピック」や「九州地区民俗芸能大会」など大きなイベントが平成29年度には開催されなかったことが要因として考えられる。利用者は減少傾向にあるため、利用者の増加に向けた情報発信を継続して行うとともに、さらに魅力あるイベント等の実施に取り組み、利用者の増加に努めてほしい。 中央公民館の事業については、多様化、高度化する学習意欲に応じ、また新たに生じてくる地域のニーズを把握し、よりニーズに合った講座を開催してほしい。 男女共同参画推進センターの事業については、引き続き講座の実施回数を増やす等講座参加者の増加につながる取組みを進めてほしい。

平成28年度

No	施設名	所管課	利用状況				増減の理由 (平成27年度との比較)	総括コメント (指定管理者に対する所管課の評価等)	
			導入前年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
135	長崎市立舞の浜荘	地域福祉課(北)	17	9,175人	7,711人	8,096人	8,456人 (360人)	利用者が快適に過ごせる施設づくりに努めており、カラオケとゲートボールを中心に利用者が増加しているもの。	利用者が快適に過ごせる施設づくりに努めており、利用者は増加傾向である。 舞の浜荘で盛んなゲートボールで世代間交流を行うなど、地域の特色を活かした事業をおこなっており、今後も、魅力ある講座やイベントの実施により、さらに施設の活性化に取り組んで欲しい。 運営については、事業計画どおり適正になされている。
136	長崎市立開陽山荘		17	554人	1,793人	1,377人	1,620人 (243人)	積極的な広報活動等により、入浴日の利用者が増加したものの。	当該施設は集落から離れたところに立地し、交通の便も悪い施設ではあるが、広報活動等の積極的な実施、冷水器の設置など、様々な利用者増加の取組みを行っている。平成28年度は浴場の利用者が増加しており、今後も継続して広報活動等を行い、施設の活性化を図って欲しい。 運営については、事業計画どおり適正になされている。
137	長崎市立池島荘	地域福祉課(北)	17	1,825人	3,596人	2,623人	2,930人 (307人)	広報紙(全世帯配布)によるPRや、お茶出しサービス等利用者が快適に過ごせる施設づくりに努めたことで、利用者が増加したものの。	利用者が池島の方にほぼ限定されているが、ふれあいや交流に重点を置き、利用者が快適に過ごせる施設づくりに努めている。 また、広報活動を積極的に行っており、利用者は増加している。 運営については、事業計画どおり適正になされている。
138	長崎市永井隆記念館	平和推進課	27	143,088人	151,701人	143,088人	122,783人 (▲20,305人)	熊本地震による修学旅行者等の減によるものであるため、H29年度についてはH27年度並みに戻る見込みである。	永井隆博士の愛、平和の精神を利用者にわかりやすく伝えられるよう講話やパネル展示などを実施していることは評価される。職員の研修も隔月で行うなど良好である。こまめな修繕、市への報告など施設の維持管理も申し分ない。
139	長崎市科学館	生涯学習課	21	89,062人	161,284人	180,738人	179,180人 (▲1,558人)	平成28年度は夏の特別展として、展示室内で「昆虫展」を開催したことや、プラネタリウムを活用したイベントを実施したこと、有料施設利用者が20,570人増えたが、出前教室の利用やイベント参加者が22,128人減少したことなどによるもの。	平成28年度の利用者数は、前年度より1,558人減少したが、目標としていた15万人を大幅に上回り、179,180人であった。これは、7月～9月に開催した「3D恐怖の幽霊船」や、3階展示室内で開催した「昆虫展」が利用者の増加に繋がったと考えられる。また、新たな取組みとして、プラネタリウムを利用したCDコンサートや、プラネタリウムカフェを開催するなど、集客に向けた取組みも積極的に行っている。また、子ども向けの取組みとして、幼稚園、保育園児を対象に無料開放のキッズプラネタリウムやアニメプラネタリウムを開催するなどサービス向上に努めるとともに、出前サイエンスを積極的に行い、利用者の増加を図っている。企画展については、内容が類似したものが続いているため、利用者には飽きやすい工夫をし、引き続き科学館の設置目的に沿った運営に努めていきたい。
140	長崎市ヴィラ・オリンピカ伊王島		21	7,776人	7,024人	7,439人	7,416人 (▲23人)	熊本地震の影響による修学旅行利用者の減などによるもの。	平成28年5月、6月は熊本地震の影響による修学旅行利用者の減、また、平成28年3月にはシンポジウム会場として利用されたが本年3月は同規模のイベント開催がなかったことなどにより、年間利用者数が23人減少した。 このような中、やすらぎ伊王島との連携が功を奏し、団体での利用が多かったため、平成28年7月から9月は利用者が増えている。 修学旅行者数が減らなければ、前年の利用者数を超えることができたと考えられるので、限られた予算であるが、今後とも、団体での利用により集客が見込める、やすらぎ伊王島との連携強化、市内外を問わず参加できるような新たなイベントを企画するなど、さらなる集客数の増加に繋がる取組みを検討してほしい。
141	長崎市民会館	人権生涯学習課 男女共同参画室	27	477,627人	-	-	489,881人 (12,254人)	平成28年度から指定管理制度を導入したことにより、指定管理者のノウハウを生かして、効果的な広報や講座の企画ができたことによるもの。	事業計画に記載された事業を概ね計画どおり実施しており、放送媒体の活用、独自のホームページの作成など集客力向上への取組みがなされ、利用者の増加につながった。今後は、更なる施設の活性化、集客数の増加に繋がる取組みを検討してほしい。 なお、中央公民館については、今後は、さらに若者や働く世代が参加する講座の充実を図ってほしい。 その他の事業についても、市民が自主的に学ぶ学習グループの新規発足や地域の活性化につながるボランティア活動の支援に、引き続き取り組んで欲しい。 また、男女共同参画推進センターについては、講座の実施回数を増やす等講座参加者の増加につながる取組みを進めるとともに、引き続きアマランスの周知を図ってほしい。